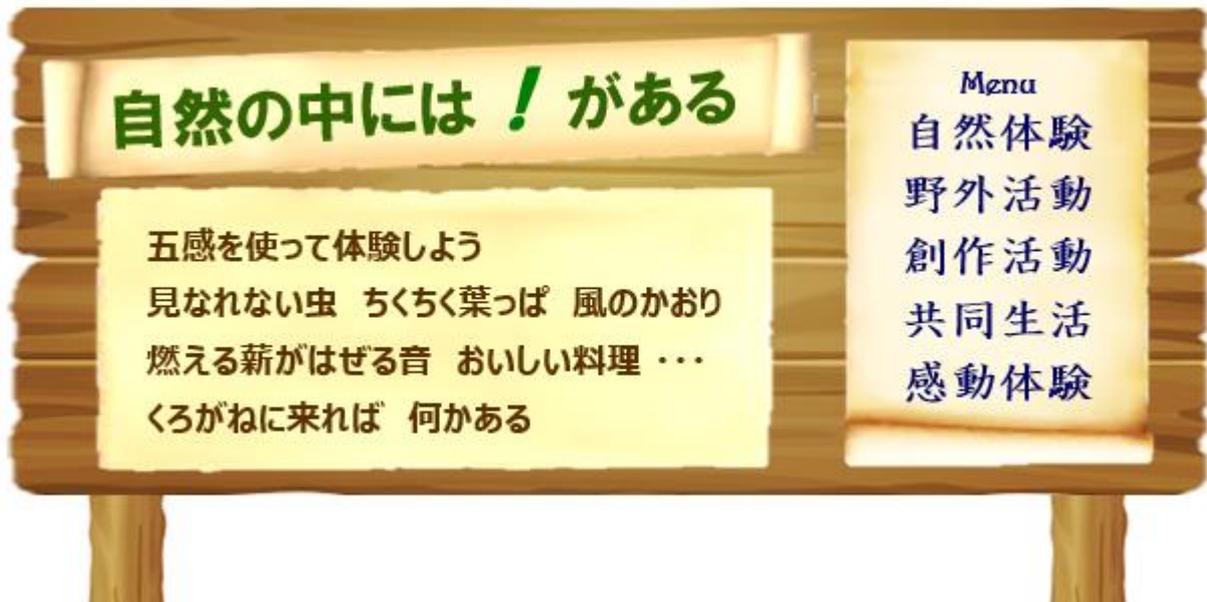


横浜市くろがね青少年野外活動センター

学校利用案内



横浜市くろがね青少年野外活動センター [指定管理者：公益財団法人横浜市スポーツ協会]

- 施設所在地：横浜市青葉区鉄町 1380 番地 〒225-0025
- 電話番号：045(973)2701 / Fax：045(972)1093
- ホームページ：http://yspc.or.jp/kurogane_yc_ysa/

★ 施設内容や活動プログラムなどについて、気軽にお問い合わせください。



くろがね野外活動センターの施設



① 野外炊事棟

まき割り、火おこし、カレー作り。班で協力して野外炊事に挑戦！仲間とほおばる料理の味は格別。冬の年中行事、餅つきの体験も楽しめます。

- ・基本的炊事用具は無料。
- ・炊事炉6か所（増設可能）。
- ・食材販売しています。



② 宿泊棟

食堂・宿泊室・トイレ（シャワー室兼備）があります。食堂は本部や研修室として使用が可能。宿泊室にはスクリーンと暗幕カーテンがあり、視聴覚室としての使用が可能です。

- ・食堂・宿泊室、共に50人収容。
- ・宿泊室での座学は80人程度まで収容が可能。



③ 冒険広場

樹木に囲まれた斜面の広場にターザンロープなどの遊具が設置されています。キャンプ広場と併せて自然を感じる学習やプログラムの展開が可能。広場の脇から伸びる山道を通り、里山観察ウォーキングも楽しめます。



④ キャンプ広場

テント設営や野営生活、フィールドゲームやキャンプファイアなど、野外活動ならではの体験プログラムの実施が可能。秋から冬にかけては、落ち葉焚きでの焼き芋や、100人鍋での芋煮会などを楽しむことができます。



⑤ スポーツ広場

各種スポーツの実施や、運動会・球技大会の開催が可能。キャンプ広場の代わりに、テント設営やキャンプファイアを行うことも可能。遠足や遠足の中継地点として使用することも可能です。



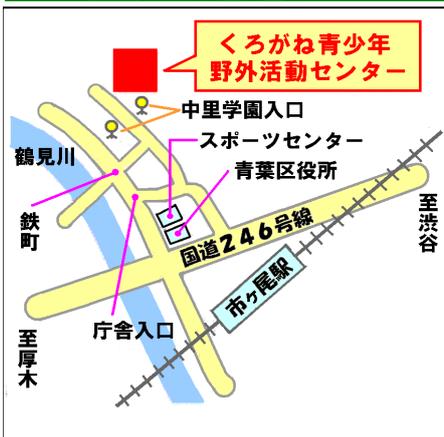
【交通】

東急田園都市線「市が尾」駅からバスで10分。「中里学園入口」バス停で下車。徒歩1分。

【駐車場】

8台分の駐車スペースに、マイクロバスを縦に駐車する事が可能。管理棟横には障害者専用の駐車スペースがあります。

全体図



東急田園都市線『市が尾駅』からバスで約10分
 『中里学園入口』下車徒歩1分

モデルプラン

日 帰 り A		日 帰 り B	
9:00	学校 出発	9:00	学校 出発
10:00	野外活動センター 到着	10:00	東急田園都市線「市が尾」駅 到着
10:15	野外炊事「カレーライスを作ろう」 薪わり／材料切り／火おこし／飯盒炊飯／調理		「古墳巡りハイキング」 市が尾駅 ～ 市が尾横穴古墳群 ～ 稲荷前古墳 ～ 野外活動センター
12:15	昼食	11:00	野外活動センター 到着
13:00	炊事用具等の洗浄／返却	11:15	火おこし体験「縄文人に挑戦」 薪割り／火おこし／湯を沸かして味噌汁づくり
13:30	おぼえて役立つ「ロープワーク」 簡単な結索／かわいい“結び”のクラフト	12:30	昼食（弁当と味噌汁）
15:00	野外活動センター 出発	13:30	自然観察プログラム「くろがねビンゴ」 ※クラフト／スポーツ活動／実験活動なども可
16:00	学校 到着／解散	15:00	野外活動センター 出発
		16:00	学校 到着／解散

体 験 学 習（1泊2日）			
1 日 目		2 日 目	
9:00	学校出発	6:00	起床・洗面
10:00	社会科見学「古墳をのぞいて見てみよう」 大塚・歳勝土遺跡／横浜市歴史博物館		朝のつどい
12:00	昼食（弁当）	7:00	野外炊事／朝食
12:45	移動	8:00	荷物整理
13:45	野外活動センター到着 入所式／荷物整理	8:30	テント撤収／返却
14:15	みんなで立てる「テントクラフト」	9:30	自然観察プログラム「くろがねビンゴ」 ※クラフト／スポーツ活動／実験活動なども可
15:30	野外炊事「カレーライスを作ろう」 薪わり／材料切り／火おこし／飯盒炊飯／調理	11:30	清掃
17:00	夕食	12:00	昼食（外注弁当）
18:00	片付け／物品返却／清掃	12:45	退所式
19:00	夜の集い「キャンプファイア」	13:00	「古墳巡りハイキング」 市が尾駅 ～ 市が尾横穴古墳群 ～ 稲荷前古墳 ～ 野外活動センター
20:00	ふりかえり／就寝準備 ※必要に応じてシャワー	14:00	市が尾横穴古墳群 出発
21:00	就寝	15:00	学校着 解散

学校の教育課程に協力します

- 学校の目的や目標を実現するための教育計画に協力します。
- 児童の取り組みが効果的に実施され、成功体験につながるよう支援します。
- 提供する野外活動プログラムが、効果的に実施できるよう説明・支援します。
- それぞれの児童にとって、仲間との良い時間を共有できるように配慮します。